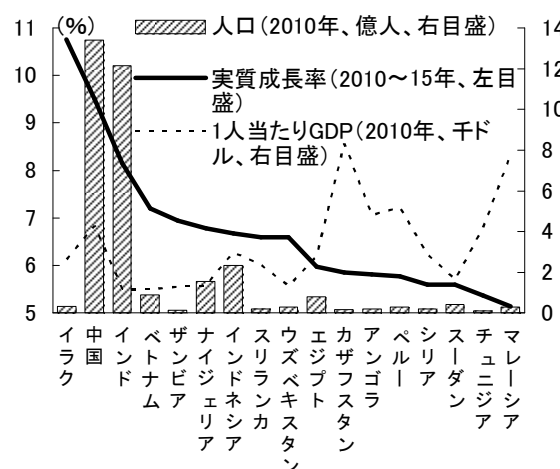


## 中印に続くインドネシア経済

～ 力強い新興諸国経済 ～

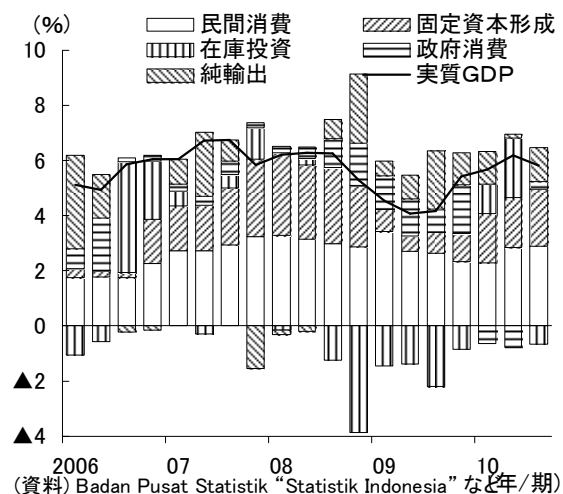
- (1) 新興国経済は引き続き力強く成長。IMFが本年10月に発表した最新予測で2010～15年の年平均成長率が5%を超える国はすべて新興国(図表1)。中国とインドを除くと、総じて資源国。もっとも、国内市場が拡大し、自律的な成長メカニズムが本格的に始動した国も。典型例がインドネシア。
- (2) インドネシアはリーマン・ショックによる落ち込みが軽微にとどまった後、09年半ば以降、成長ペースが再び加速(図表2)。10年に入り、実質6%の成長軌道に復帰。外需の寄与は小さく、原動力は個人消費と固定資本形成。いわゆる内需の2本柱がリード役。
- (3) 消費動向をみると、まず好調な経済成長を背景に所得・雇用環境が引き続き改善(図表3)。08年入り後、消費者マインドが一時的に慎重化したものの、同年半ば以降、回復。さらに、09年初以降以降、改善傾向が持続。所得雇用環境の改善と消費者マインドの積極化を映じて09年初来、小売売上高が着実に増加し、10年に入り増勢加速へ。
- (4) 一方、投資動向をみると、鉱工業生産が趨勢的増勢を続けるなか、07年央以降、対内直接投資が拡大(図表4)。同国経済の中期的成長を見越した動き。加えて、税収好調下、政府のインフラ整備も着実に進捗。このところの物価上昇を懸念する向きもあるものの、消費者物価の騰勢は本年8月をピークにむしろ鈍化の方向。総じてみれば、力強い内需に支えられ、ハイペースの成長が中期的に持続する公算大。

(図表1) 新興諸国の人口と成長率、1人当たりGDP



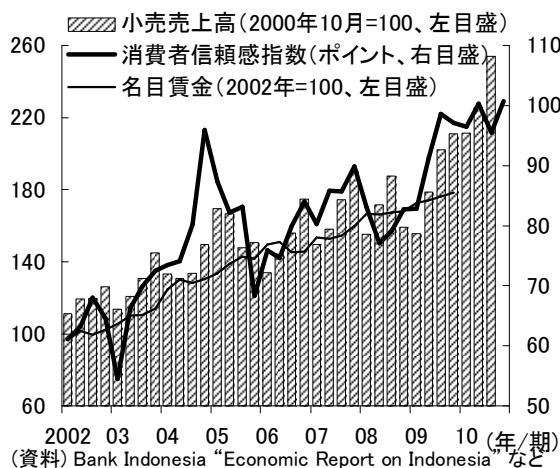
(資料) IMF "World Economic Outlook"

(図表2) インドネシアの実質経済成長率



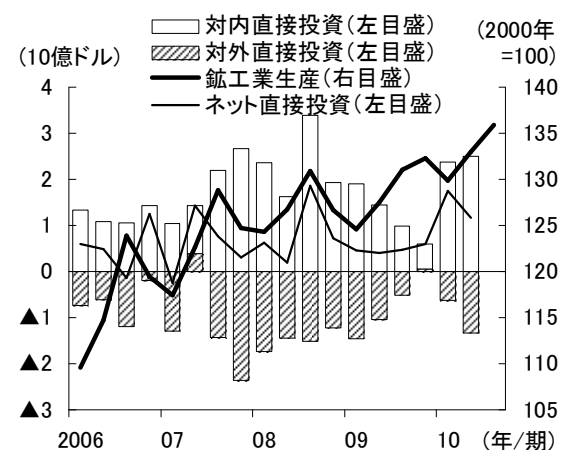
(資料) Badan Pusat Statistik "Statistik Indonesia" など(年/期)

(図表3) インドネシアの小売売上と名目賃金、消費者信頼感指数



(資料) Bank Indonesia "Economic Report on Indonesia" など

(図表4) インドネシアの直接投資と鉱工業生産



(資料) IMF "IFS" など  
(注) 2010年第3四半期は7～8月値。